

食べること 生きること ～最期まで口から食べられる ためにできること～

本人、家族に「口から食べたい」という希望がある、もしくは身体的に栄養ケアの必要がある人に対し、適切な栄養管理、経口摂取の維持、食を楽しんでもらうことを目的として、リスクマネジメントの視点を持ち、適切な支援を行うことが重要である。

2025年11月30日  **9:50～12:20**
(受付開始 9:30～)



**弘前医療福祉大学短期大学部 2階
またはオンライン**

定員：会場 50名/オンライン30名

講師：五島 朋幸

ふれあい歯科ごとう、新宿食支援研究家、
日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科
臨床教授、株式会社winwin代表取締役

食支援で重要なこと

地域で「口から食べること」に問題のある人は在宅高齢者の約16%と推測される。これだけの対象者には専門職に加え、一般市民を巻き込んだ活動が必須である

参加費

会員・県外会員1,000円・会員外2,000円・
学生会員,無料・会員外学生,500円
※ 日本歯科衛生士会生涯研修 2 単位申請予定
※ 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士認定更新
2 単位申請予定

タイムスケジュール

9:50～	開会・挨拶
10:00～12:00	講演（途中休憩あり）
12:00～12:20	質疑応答

お申し込み・お問い合わせ先

①氏名、②連絡先住所、③電話番号、④参加方法
オンラインの方はmailアドレスを記入し11月15日
（水）までにHP、メールにてお申込みください。
その際、会場かzoomかを必ず明記してください。

担当：一般社団法人青森県歯科衛生士会理事 松宮 久美
携帯 090-7936-2190

E-mail milkglass@icloud.com